

報告2 山北地域における公共交通※の状況

※令和5年10月1日から1年間実証運行を実施

※令和6年10月1日から本格運行を開始

1 令和6年10月～7年1月までの利用実績

(1) 路線バス（新潟交通観光バス㈱への委託事業）

〈大毎・鼠ヶ関線〉

運行日数（延べ）： 97日
運行便数（延べ）： 873便（1日9便）
利用者数（総数）：2,099人
（1日平均）： 21.6人（実証運行時：20.6人）
（1便当たり）： 2.4人（実証運行時：2.3人）

〈雷・勝木線〉

運行日数（延べ）： 97日
運行便数（延べ）： 663便（1日：平日7便、土曜6便）
利用者数（総数）：1,447人
（1日平均）： 14.9人（実証運行時：16.3人）
（1便当たり）： 2.2人（実証運行時：2.4人）

(2) 自家用有償旅客運送 【愛称『さんぼくん』※公募し令和6年3月に決定】

（NPO法人おたすけさんぼくの自主事業）

- ① 利用登録者数 220人（令和6年9月末時点：176人）
- ② ドライバー登録者 25人（令和6年9月末時点：23人）
- ③ 運行延べ件数 865件（片道1件で集計）
- ④ 月平均運行延べ件数 216件（実証運行時：104件）
- ⑤ 利用者延べ人数 1,028人（片道1人で集計）
- ⑥ 月平均利用者延べ人数 257人（実証運行時：127人）
- ⑦ 目的別利用件数（利用者延べ人数の内訳）
 - 帰宅 514件
 - 医療機関関係 213件
 - 金融機関 33件
 - 買い物 129件
 - 駅 21件
 - その他 118件

2 今後の方針

(1) 路線バス

No	現状と課題
1	① 雷・勝木線の利用者が少なく（特に雷～杉平）、R7年度からは中学生の通学利用がなくなる。 ② 大毎線の通勤利用要望がある。 ③ J Rとの接続改善要望がある。
2	村上市の他地区のコミバスと比較し、料金が安いという声がある。

(2) 自家用有償旅客運送「さんぼくん」

No	現状と課題
1	利用件数が右肩上がりに増加してきており、今後も増えていくと予想される。経費的にも運行するほど赤字となるため、予算を踏まえた運行調整が必要。また、件数増加により予約受付対応・調整事務も増大してきている。

(3) 徳新会外来送迎バス

No	現状と課題
1	路線バスと徳新会外来送迎バス（会員のみが乗車可能）が重複して運行している。路線バスの雷・勝木線の代替手段として活用を検討する。